令和６年度　いじめ防止の全体指導計画

中種子町立増田小学校

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
教育課程改善の重点事項
県の重点施策
市の重点施策
子どもの権利条約

学　校　教　育　目　標

自ら学び，思いやりの心をもち，心身共にたくましい子供を育成する。

・現代社会の要請
・保護者の願い
・教師の願い
・家庭の願い
・家庭の実態
・地域の実態
・子供の実態

生　徒　指　導　目　標

児童が持つ個性をよく理解し，把握して，前向きにそのよさを見つめ，一人一人の児童に積極的に働きかけながら，それぞれの人格のよりよき理解を目指す。。

・関係機関の通知通達の活用
・関係機関の資料活用
・関係機関の指導資料の活用

いじめ防止の指導目標

豊かな人間性の育成を目指して，友達と仲良く助け合い，お互いの人権を尊重しながら，自他の生命を大切にする心を育てる。

子供の実態

・テレビ，新聞等を通じたいじめへの関心の高まり。
・いじめの増加

目指す子供像

・　自ら進んで学び，伸びようとする子供
・　友達と仲良く助け合う子供
・　明るく素直で礼儀正しい子供
・　自分を大切にするとともに他人も大切にする子供
・　健康・安全に心がけ，生命を大切にする子供
・　ねばり強く最後までやり遂げる子供
・　静かに深く考え判断する子供

学　年　の　重　点　目　標

１・２年	３・４年	５・６年
・　基本的生活習慣を身につける。 ・　みんなと仲良くし，いじわるしたり仲間はずれをしない。 ・　どんなことが正しいか正しくないかが分かる。 ・　動植物をかわいがるようにする。 ・　他人に迷惑をかけない。	・　友達に対して偏見を持ったり差別したりしない。 ・　自分の生活習慣の確立と生命の大切さについて関心を持って生活する。 ・　善悪を見極め正しい行動ができる。 ・　みんなと仲良くし協力できる。	・　自他の生命を尊重する精神をもって生活の基本とする。 ・　人権侵害や差別の事実に目を向けそれらを進んで排除しようとする。 ・　勇気をもって正しいと信ずることを進んで実践できる。 ・　社会連帯意識や奉仕の精神に基づく実践的な社会性を培う。

「いじめ」は，いじめられる子供を精神的にも深く傷つけ，人格形成に悪影響をもたらしたり，生命や人権を侵したりする行為を生み出す場合もある。子供が自殺に追い込まれることは容易ならざる行為であり，それを防止することは極めて大切である。学校・家庭・地域が力を合わせ，いじめ，自殺防止に万全を期したい。

児　童

1　子供との触れ合いを大切にし，子供と教師・親と教師・親同士の信頼関係を深め，子供が親や教師・大人になんでも話せる人間関係をつくる努力をする。（望ましい人間関係や教育的風土の醸成）

2　「いやだなぁ」「困ったなぁ」「どうしよう」「もう学校に行きたくない」と思ったら，一人で悩まず相談する。
・親に
・先生に
・友達に
― 口頭で
― 電話で
― 日記や手紙で

3　友達が困っていたり，悩んでいたりしたら勇気とやさしさをもって行動する。

4　いじめる子どもがいたら
・見て見ぬふりをしない。
・仕返しを恐れず止めに入る。
・仲間に誘われたら断る。

※勇気を持って行動する。

教　師（学校）

2　「いじめ」の実態，特徴を知る。→「子供の誰にでも起こりうる現象だという認識」
・言葉での脅し　・暴力をふるう
・冷やかしやからかい　・金品を強要する
・持ち物かくし　・集団による無視
・仲間はずれ（遊びに入れない，グループに入れない）

3　実態把握に努める。
・情報の収集
・きめ細やかな観察
・保健室との連携

4　教師と子どもとの共感的な人間関係を確立する。

5　教育相談・家庭訪問の実施による早期発見と協力態勢を確立する。
・記録，アンケート結果の活用

6　本気で指導する。
・全教職員による共通理解共通実践をする。
・命の大切さを教える。
・「いじめは絶対に許されない行為である」という毅然とした態度で指導する。
・指導記録を取る。

7　関係機関との連携をとる
子供がいじめられていることが分かったら，早急に相談し，対処の仕方を学ぶ。

8　「いじめ防止対策委員会」で対策を練る。

9　研修の機会の充実を図る

保　護　者（家庭）

・親同士の信頼関係を深め，子供が親や教師・大人になんでも話せる人間関係をつくる努力をする。（望ましい人間関係や教育的風土の醸成）

3　子供の言動の変化に注意を払う。
・日記
・友人関係

4　担任と連絡し，適切な措置を講ずる。
人間関係の確立

6　正義感を育てる。
・道徳的
・社会的
・情意的
・善悪の判断力をつけさせる。
・「人間として大切なもの」をきちんと教える。

8　学級ＰＴＡで対策を練る。

地　域

3　関係機関，組織を生かす。
・学校に連絡を取る。

4　社会教育学級等で「子どもの発達課題」等について学ぶ。
・研修会の開催
・資料の作成，配布